

数学科（実践数学）学習指導案								
年月日	平成 28 年 6 月 17 日（金）第 2 時限							
年次	3 年次	講座	3 0 2	教室	3 0 2 HR	指導者	砂田 佳範	
単元	第 1 1 章 数列			教科書	数学就職問題集（愛媛県高等学校教育研究会）			
指導目標	1 数列の規則性を発見し、適当な値を求めることができるようにする。 2 物事を数学的に考えさせ、日常生活において必要とされる数学的能力を身に付けさせる。			指導計画	1 比と歩合・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 時間 2 数と式の計算・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 時間 3 1 次方程式と 1 次関数・・・・・・・・・・ 6 時間 4 数列・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 時間 (本時はその 2) 5 2 次方程式と 2 次関数・・・・・・・・・・ 6 時間 6 不等式・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 時間 7 三角比と三角関数・・・・・・・・・・ 1 時間			
本時の指導過程	主題	数列						
	目標	数列の規則を把握させ、数列の和を求めさせる。						
	課題	小テストの勉強をしてくる。						
		学 習 活 動	時間	指導上の留意事項		資料、評価規準等		
	導入	1 小テストを実施する。 2 本時の目標を確認する。	1 0	・もとにする量、比べる量、割合を文章から見つけさせる。				
展	1	様々な数列の項の値を求める。	1 0	・数列の規則性に気付かせる。		・パソコン ・プロジェクタ 【評価規準】 ○数列の和を求めることができる。 <知識・理解>		
	2	等差数列の和の求め方を説明する。	1 5	・数列の和を図で表し、前後逆にしたものを組み合わせることにより、数列の和の求め方を理解させる。 ・等差数列の和を一般化させる。		【評価方法】 ○演習問題 ○机間指導		
開	3	問題演習を行う。	1 0	・初項、末項、項数を見つけさせ、等差数列の和を求めさせる。				
整	1	本時のまとめを行う。	5	・本時の内容を理解できているか確認させる。				
理	2	次時の学習内容を確認する。						
備考	生徒数 男子 17 名・女子 19 名 計 36 名							